

# 大和川フォーラムレポート

平成18年9月10日(日)

奈良市の「なら100年会館」で、「大和川フォーラム」(10:00~17:00)を開催しました。

## フォーラムの概要

平成16年は大和川下流の付替え300周年や、大和川の水質が環境基準レベルを下回るなど、大和川再生への気運が盛り上がりました。平成17年3月5日には、流域の代表市町村長、奈良県知事、大阪府知事、北側国土交通大臣などが堺市に一同に会し「大和川水環境サミット」が開催され、流域住民と行政とのパートナーシップによる大和川再生のキックオフとなる「サミット宣言」が採択され、その中で大和川再生を目指すCプロジェクト計画を策定していくことが決まりました。そして今回、再生を更に加速させる取り組みについて考えるために「大和川フォーラム」を開催しました。

第一部「流域交流会」では、これまでの活動と成果が報告され、会場が一体となって大和川の未来を議論し、第二部の「大和川サミット」では、北側国土交通大臣、奈良県知事、大阪府副知事、流域の38市町村が一同に会し、大和川再生を加速するための「Cプロジェクト計画2006」が策定されました。また第三部「流域交流会」では、計画の策定を受けて、流域住民・行政が計画を進めるための具体的な率先行動について、行政と参加者が輪になって活発な意見交換を行いました。



・「Cプロジェクト計画2006」を掲げて。

・北側大臣を囲み、サミット参加者全員で記念撮影。

## 【第一部】流域交流会～これまでの大和川再生の取り組みを振り返り、大和川の未来について意見交換～

多くの来場者の中、大和川フォーラムが開会されました。奈良県河川課長の開催趣旨説明の後、大和川再生を目指したこれまでの活動を振り返るオープニング映像を上映。これからの1日への期待感を盛り上げます。

第一部「流域交流会」では、まず大和川再生に取り組む各機関からの成果報告が行われました。次に「Cプロジェクト計画2006(素案)」が大和川河川事務所長から発表されました。大和川に関わる関係機関や参加者による、活発な意見交換がおこなわれました。様々な意見やアイデアを頂いたものを盛り込んだ「Cプロジェクト計画2006(案)」が第二部「大和川サミット」へ報告されました。

## フォーラムについて

プログラム:

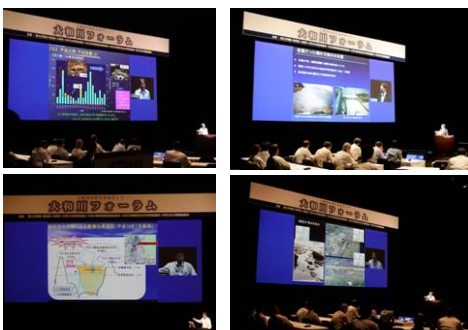
【第一部】流域交流会(10:00~12:30)

【第二部】大和川サミット(13:30~15:40)

【第三部】流域交流会(16:00~17:00)

主催:国土交通省・奈良県・大阪府・大和川水環境協議会・大和川環境整備連絡協議会・大和川流域総合治水対策協議会・大和川沿川整備協議会

◆来場者数...約1,300人



・各機関の成果報告発表



大和川再生を加速させる取り組みについて、参加者の間で活発な意見交換が行われました。



## 【第二部】大和川サミット

午後からの第二部では、第一部でとりまとめられた「Cプロジェクト計画2006(案)」を受けて、北側国土交通大臣、柿本奈良県知事、梶本大阪府副知事、流域市町村長による「大和川サミット」が藤本近畿地方整備局長のコーディネートで行われました。活発なディスカッションの後、会場の多くの参加者による拍手をもって「Cプロジェクト計画2006」が採択されました。



・流域38市町村の代表が参加



・冒頭に門松河川局長が全国の河川再生の取り組みを発表



・北側国土交通大臣



・柿本奈良県知事



・梶本大阪府副知事



・コーディネーター  
藤本近畿地方整備局長

・国、府、県、と流域市町村が一堂に会して大和川再生を加速する計画について、討議しました。

・一部「流域交流会」二部「大和川サミット」で出された意見は留意事項として盛り込まれ、「Cプロジェクト計画2006」は採択されました。



## 【第三部】流域交流会～大和川の再生の今後の進め方について意見交換～

第三部では、行政と参加者が一緒に輪を作り、採択されたばかりの「Cプロジェクト計画2006」を速やかに実行していく第一歩として、大和川再生を加速させるために、大和川に関わる人々ができること、すべきことなど具体的なアイデアについての率先行動について、意見交換が行われました。



・計画を実行していくためには、情報やビジョンの共有、連携していくためのネットワーク形成が重要であるという意見など、多くの意見が出ました。



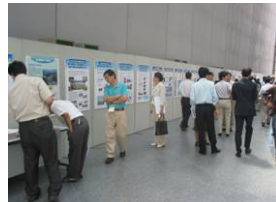
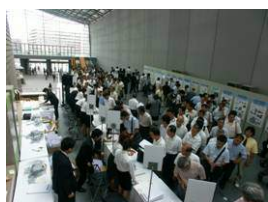
・流域住民やNPO等の皆さんからたくさんの意見。次のステップに向け、期待が高まります。



最後に意見交換の場に集まった多くの参加者で記念撮影を行い、フォーラムを締めくくりました。

## 【会場展示】大和川に関するさまざまな取り組みを紹介したパネル展

会場入口前の展示コーナーでは、大和川河川事務所、奈良県、大阪府による展示のほか、大和川に関わり、活動されている団体等の作品や活動紹介などが展示されました。



多くの来場者の方々が、各団体の活動展示の前で足を止めていました。